

トピックス **ぶらす**

8/27

災害に備え3団体と協定を締結

宮城県沖地震などの災害に備え、「救援活動協力に関する協定書」が8月27日、ロック開発㈱、イオンスーパーセンター㈱、ロックシティ佐沼同友店会の2社1団体と交わされました。市長は「生活物資の流通に携わる皆さんの協力は大変心強いものとなります」と感謝を述べました。今回の協定で市と協定を締結した団体は43団体となっています。



▲4人が力強い握手をして災害時の協力体制を確認

8/28

戦没者の冥福とともに恒久平和を誓う

市戦没者追悼式が8月28日、登米祝祭劇場で行われ、遺族など約400人が参列しました。戦没者の冥福を祈り全員で黙とうを捧げた後、布施市長が「戦争の悲しみを繰り返さない決意をし、平和で豊かに暮らせる登米市づくりを誓います」と式辞を述べました。その後、参列者一人一人が祭壇に向かって白菊を献花し、戦没者の冥福を祈りました。



▲英霊をしのび、永遠の平和を誓った戦没者追悼式

9/12・13

子どもたちが素晴らしい演技を披露

市内の児童、生徒によるミュージカル劇団「ドリーム★キッズ」の第7回公演「宇宙シドレツ！」が9月12、13の両日、登米祝祭劇場で開催されました。今回は、ひょんなことから惑星を救うことになった主人公とその住民との物語。会場には両日も大勢の観客が訪れ、団員の素晴らしい演技に、大きな拍手を送っていました。



▲リズムカルに素晴らしい演技を披露する子どもたち

9/13

市民クルー74艇が水しぶきをあげ力漕

秋の訪れを告げる風物詩として定着した、市民レガッタ大会が9月13日、長沼漕艇場で開催されました。練習で真っ黒に日焼けした選手たちは汗と水しぶきをあげ熱戦を繰り広げました。コースの沿岸には、職場やクルーの応援団のテントが並び、駆けつけた選手たちの職場の同僚や家族などで、にぎわいを見せていました。



▲ゴール前でデッドヒートを繰り広げる選手たち

歴史ある祭りを県内に紹介

登米秋まつりを「OH!パンドス」でPR

今年で334回目を数える歴史ある登米秋まつりをPRし、より多くの観光客に来てもらおうと9月9日、登米秋まつりの関係者がミヤギテレビ「OH!パンドス」の生放送「おらが町、は〜い出番です」のコーナーに出演し、仙台駅前で行った祭りのPRをしました。番組では、登米秋まつりが今年、県の無形民俗文化財の指定を受けたことや、全国の地域伝統芸能大賞の受賞が決定したことなど、登米の秋まつりが全国的に高く評価されている祭りであることなども紹介し、テレビを使って広く県内に祭りをPRしました。



▲ミヤギテレビ「OH!パンドス」で秋まつりを紹介する関係者

親子で楽しくみんなと交流

保育園に入所していない子どもや親の交流を目的として、佐沼保育園「ルンビニー園」で9月10日、親子約30人が参加して「食べ物屋さんごっこ」が開催されました。子どもたちは紙で作った料理やお菓子を使い、お店屋さんとお客さんに分かれて、買い物ごっこを楽しみました。お客さん役の子どもがお店を訪れ、「これください」とおもちゃのお金を渡すと、お店屋さんの子は「ありがとう」と言って元気に食べ物をよそっていました。参加した親子は、買い物ごっこを通し、会話や交流を楽しんでいました。



▲焼きそばやたこ焼きなど、子どもたちに人気のお店が並びました

みんなで登米っぺ交通事故

東和で全国交通安全キャラバン隊伝達式

交通安全に関する内閣府特命担当大臣のメッセージを全国に伝達し、交通事故の防止を呼び掛ける交通安全啓発全国キャラバン隊が9月8日、市を訪れました。会場となった東和勤労青少年ホームでは、市と気仙沼市、南三陸町から約120人の交通安全母の会会員がキャラバン隊を出迎え、式ではキャラバン隊長から交通安全メッセージが伝達されたほか、東和町交通安全母の会による交通安全に関するアクションが行われ、参加者全員で交通安全を誓いました。



▲東和町交通安全母の会によるユーモアを交えた交通安全寸劇